

参議院議員補欠選挙での公約

これから、どんな岩手にしたいですか。

岩手の未来と県民の皆様の暮らしに向き合い、私はいまこう答えます。

「若い人たちであふれて、若い人たちが戻ってくる岩手に、日本にしたい。」

高齢者のことも、子どもたちのことも、支える若い人たちがいなければ成り立ちません。

子どもの数が増えて、岩手にある一次産業から三次産業までの生業も、これからおこる新しい事業も、県外から来る企業も、どんどん成長して、県外よりも県内の仕事に魅力があって、そのまま岩手で暮らし、また岩手に戻ってくる。

これが『岩手新時代』

今のままでは全国の地方は立ち行かなくなります。この岩手から新しい政治を創ります。

1. 今回の補欠選挙で問うべきもの

- ・政治は本当に変わるのか。変えられるのは誰か。
- ・クリーンで人に優しい政治を行えるのは誰か。
- ・ただ改革を唱える政治家ではなく、改革を圧倒的なスピードで実行できるのは誰か。
- ・時代の変化に取り残された日本の政治を岩手から変えていく。
- ・長年、重要な課題として議論され続けてきた問題に結論を出す。
- ・今まで光の当たらなかった部分に光を当てていけるのは誰か。

2. 現状認識

- ・少子高齢化、人口減少による社会環境の変化。
- ・東京一極集中の加速により地方に活気が失われている現状。
- ・所得・資産の格差、正規非正規格差、男女格差、地域格差、世代間格差、教育格差等の格差が発生。
- ・日本企業の世界的プレゼンス低下。
- ・社会保障にかかる費用の急増。
- ・可処分所得の低下、高い国民負担率の現状。
- ・脆弱なセーフティーネット、年金の将来性。
- ・給料水準が上がらない構造問題。就職氷河期問題。

3. 主な政策

〈政治改革〉

- ・政治資金の透明性を高めるため政策活動費を廃止。
- ・企業団体献金は禁止。
- ・旧文書通信交通滞在費（調査研究広報滞在費）の使途公開、残金は国庫に返納。

〈国会改革〉

- ・総理や閣僚の国会張り付きを見直す。
- ・デジタル化を徹底的に推進。
- ・質問通告の時間遵守を徹底し、国家公務員の深夜残業を減らす。

〈規制改革〉

- ・ライドシェアを全面的に解禁し、地方の公共交通の充実を図る。

〈行政改革〉

- ・デジタル化の急速な進展を踏まえ、「統治機構×デジタル」の観点から、行政システムと IT システムの一体改革を推進。
- ・硬直的な行政システムを時代のニーズに対応できるよう再編成し、生成 AI をはじめ AI の活用を促進するため、著作権法の所管を文化庁から移管し新たに知的財産庁を創設するなど。
- ・デジタル社会形成基本法に明記した「公正な給付と負担」を実現するため、その基盤となる制度インフラの構築を最優先で進める。

〈憲法改正〉

- ・先送りできない最重要課題。有事における権力の暴走を防ぐため緊急事態条項の創設、自衛隊明記。

〈外交安保〉

- ・防衛力の強化と自衛官の処遇改善、社会的地位向上をセットで行う。
- ・国家安保戦略の執行、防衛生産基盤強化、能動的サイバー防御の法整備を目指す。
- ・北朝鮮による日本人拉致に関して、親世代が存命のうちに全拉致被害者の即時一括帰国を実現する。

〈人生の選択肢を増やす〉

- ・選択的夫婦別姓の導入。
- ・「年収の壁」を撤廃。働いている方には原則、厚生年金が適用されるよう制度的な制度設計を目指す。

〈未来の日本〉

- ・天皇陛下の権威と皇統を護るため、旧皇族を復帰させ男系継承の文化を守る。
- ・長期の日本の姿を見据えた「国家戦略 2050」の策定を推進。

〈動物政策〉

- 人と動物の適切な共存を推進。
- 文科省が推進している廃校（全国約300校）の利活用に関し、シニア、子ども、動物のふれあいの拠点として活用する。